

ミクロン精密 株式会社

2014年8月期 決算説明資料

◆本資料は投資を勧誘、推奨するものではありません。この情報に基づいての投資判断は、個人の責任において行ってください。

会社概要

◇事業内容

： ^{しん}心なし研削盤（セントレスグライнда）
内面研削盤（インターナルグライнда）
その周辺装置の製造、販売

◇社 是

： 技術と人柄

◇社員数（連結）

： 226名

◇平均年齢（単体）

： 40.9歳

◇業績（連結）

売上高： 4,427百万円
経常利益： 1,046百万円
当期純利益： 690百万円

2014年8月期
（第55期）

柄 欠 磨 研 技

【技術と人柄】

技術の研究と人柄の醸成を
通じた社会貢献と人格育成

2014年8月実績 損益計算書比較(連結)



(百万円)

	2013年8月期 実績(9ヶ月)		2014年8月期 実績		前期 からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	2,842	100.0 %	4,427	100.0 %	- %
売上総利益	1,070	37.6 %	1,643	37.1 %	- %
販売費及び一般管理費	584	20.6 %	870	19.7 %	- %
営業利益	485	17.1 %	773	17.5 %	- %
経常利益	932	32.8 %	1,046	23.6 %	- %
当期純利益	643	22.7 %	690	15.6 %	- %
1株当たり配当金	30.00円		38.00円		

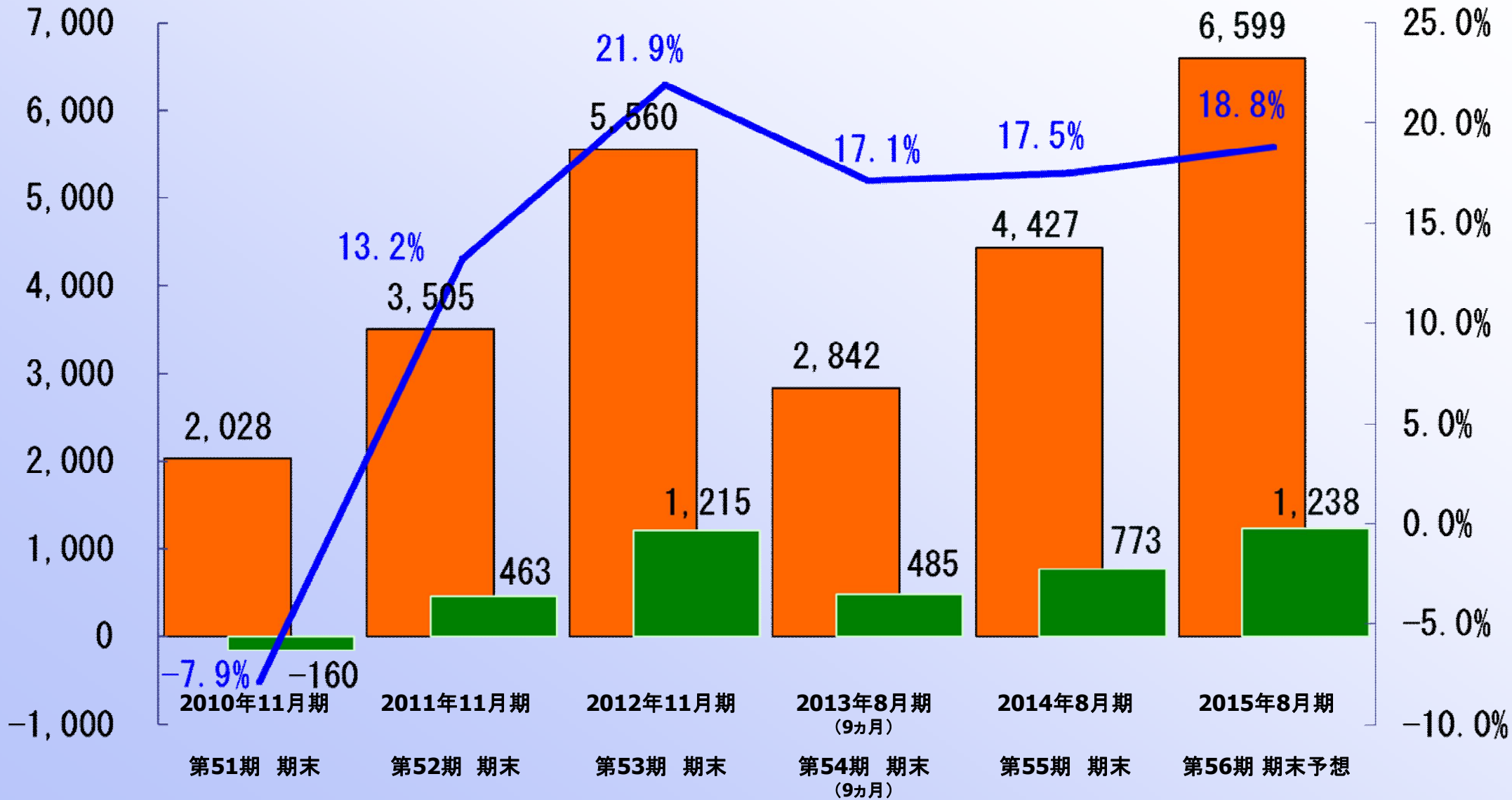
売上高につきましては、製品の売上計上基準を検収基準としておりますが、主に北米向け輸出案件が、現地での調整の遅延等により、売上が翌期以降に繰越となる案件が見込まれること等から、予想を8億79百万円下回る44億27百万円となりました。営業利益につきましては、生産効率の向上等があったものの、前述の売上高の減少により、予想を66百万円下回る7億73百万円となりました。

経常利益につきましては、前述の営業利益の減少があったものの、為替変動による外貨建資産の為替差益や評価益の計上があったこと等から、予想を1億35百万円上回る10億46百万円となりました。また、当期純利益につきましても、前述の経常利益の増加等により、予想を29百万円上回る6億90百万円となりました。

売上高の推移<通期>

(単位：百万円)

売上高 営業利益 売上高営業利益率



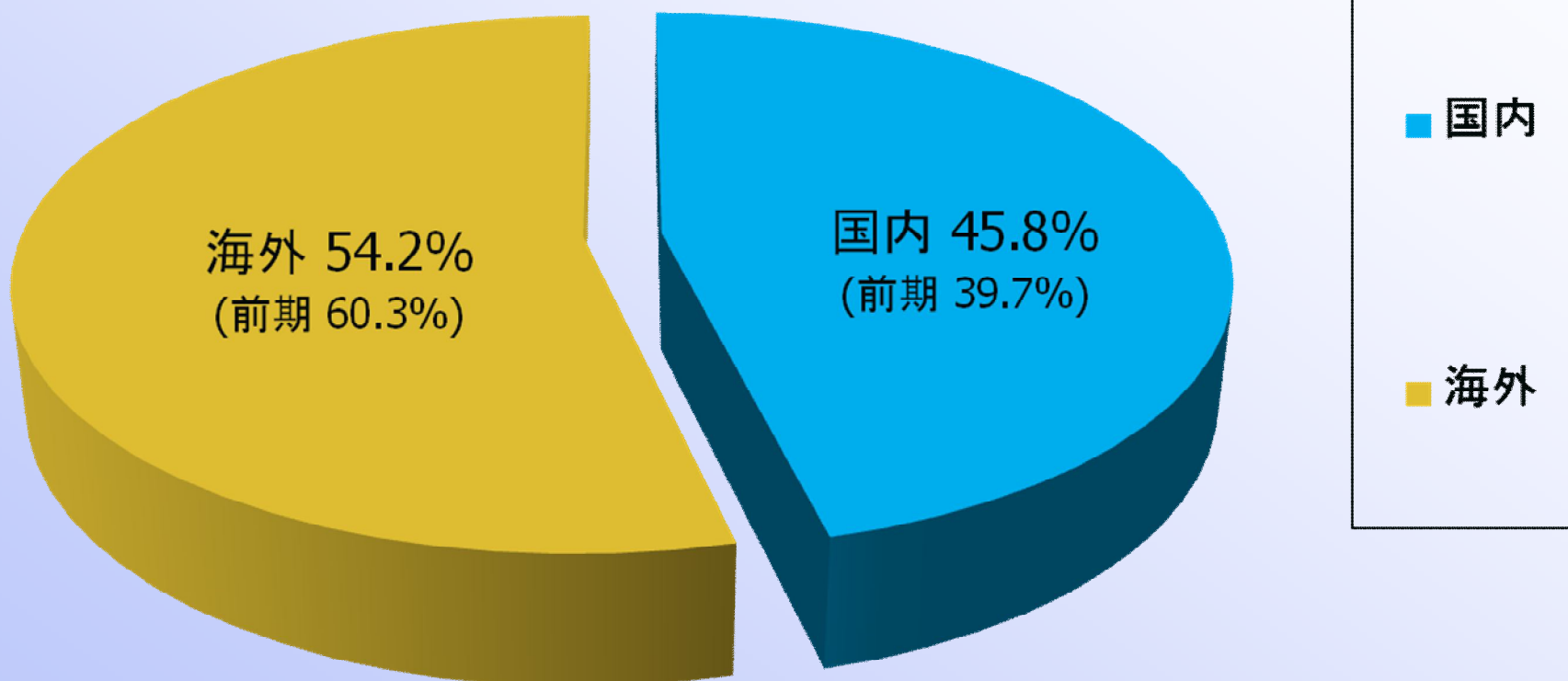
2014年8月予想と実績 損益計算書(連結)

(百万円)

	2014年8月期 予想		2014年8月期 実績		予想からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	5,307	100.0 %	4,427	100.0 %	-16.6 %
売上総利益	1,734	32.7 %	1,643	37.1 %	-5.2 %
販売費及び一般管理費	895	16.9 %	870	19.7 %	-2.8 %
営業利益	839	15.8 %	773	17.5 %	-7.9 %
経常利益	911	17.2 %	1,046	23.6 %	14.8 %
当期純利益	661	12.5 %	690	15.6 %	4.5 %
1株当たり配当金	40.00円		38.00円		

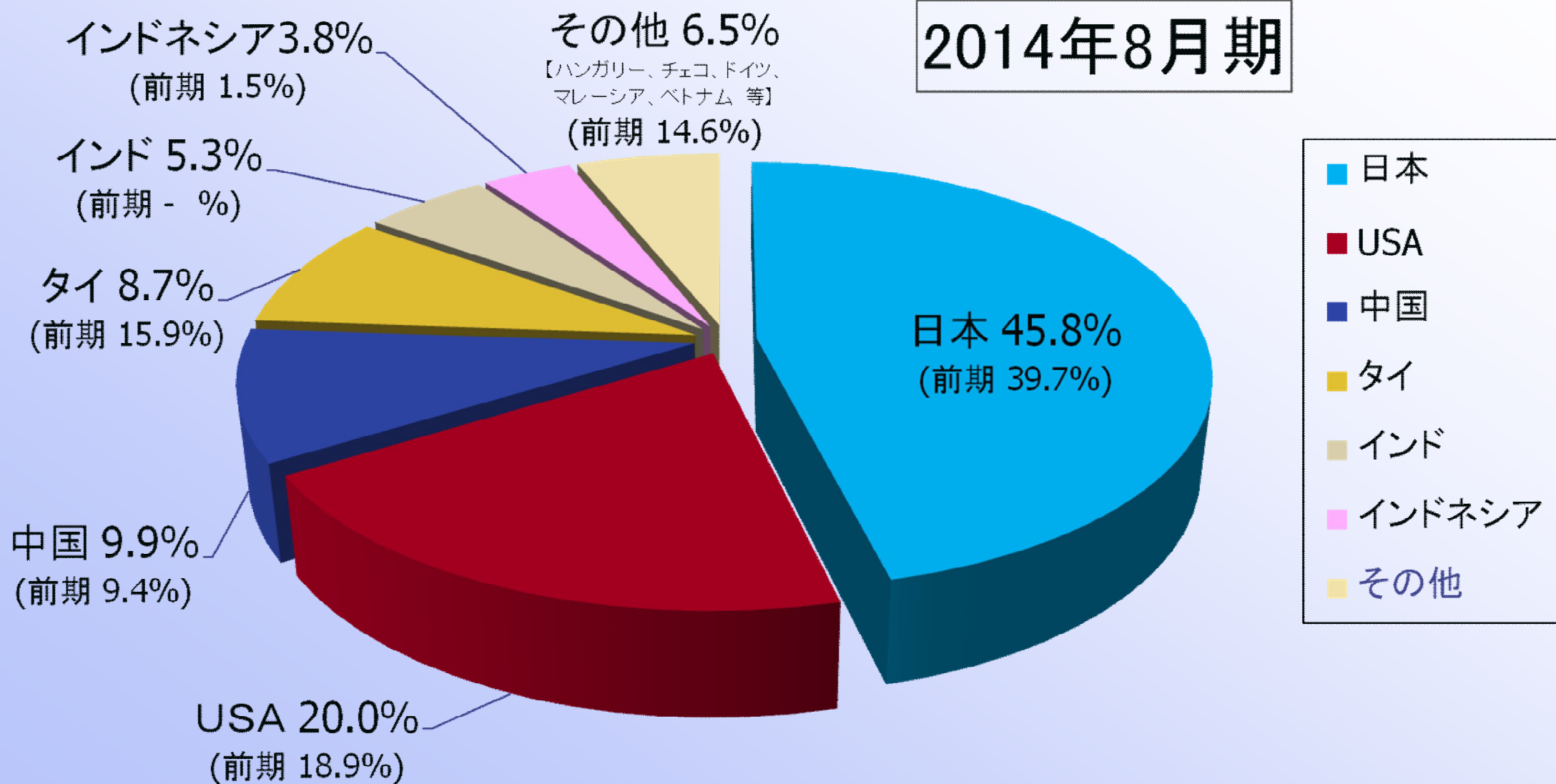
国内・海外売上比率

2014年8月期

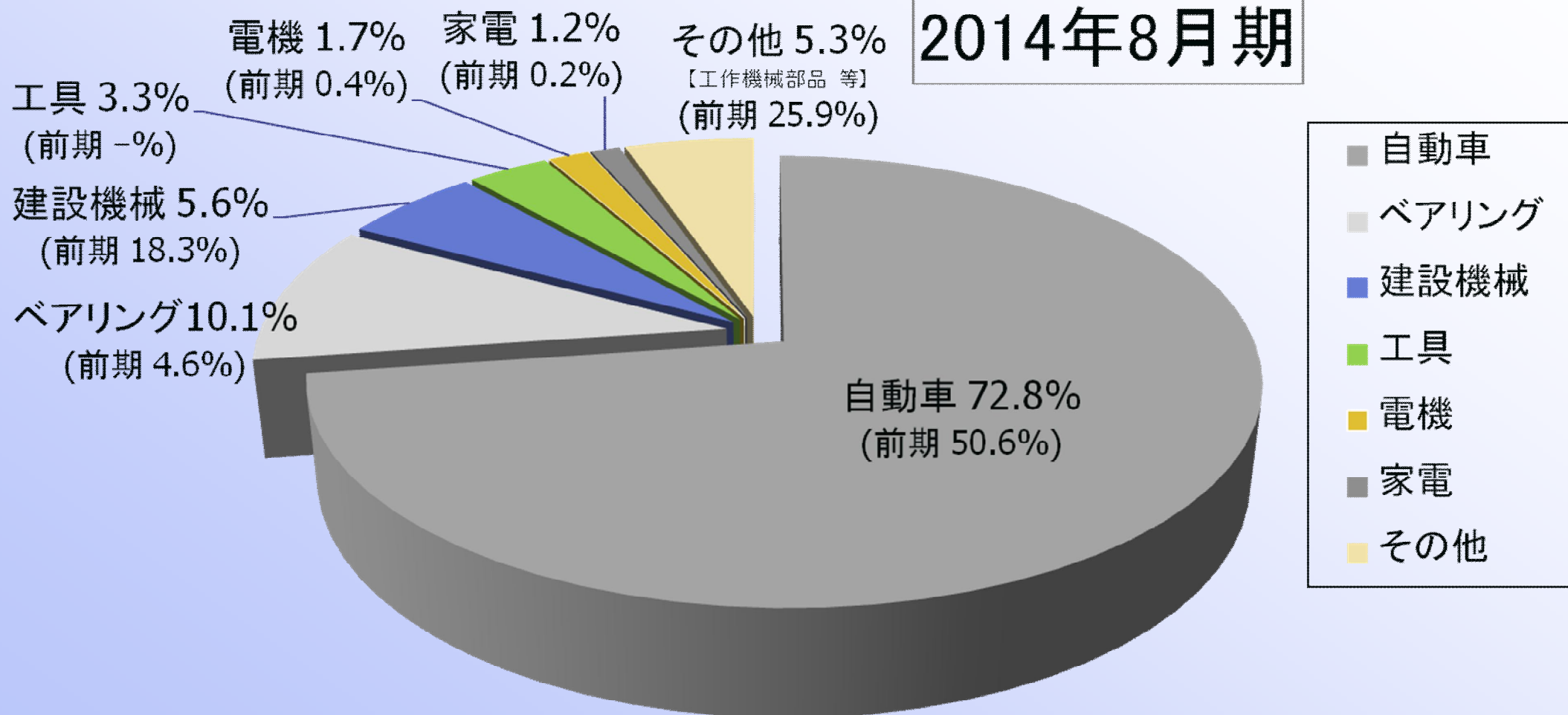


国別売上比率

2014年8月期



業種別売上比率



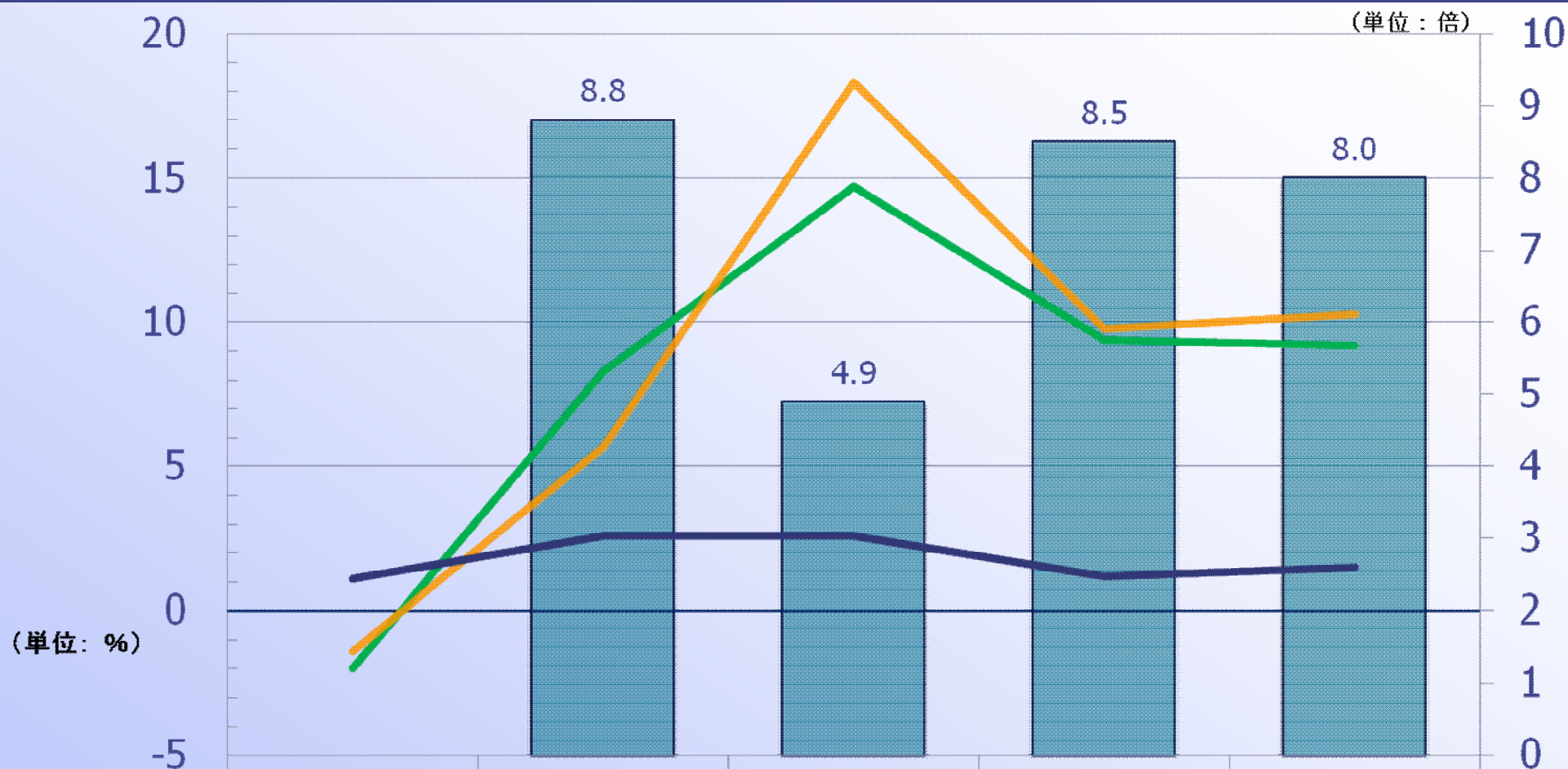
2014年8月期実績 品目別売上高(連結)

(百万円)

	2013年8月期 実績(9ヶ月)		2014年8月期 実績		前期からの 伸び率
	売上高	百分比	売上高	百分比	
心なし研削盤	2,064	72.6 %	3,522	79.6 %	- %
内面研削盤	383	13.5 %	324	7.3 %	- %
部品	365	12.9 %	537	12.1 %	- %
その他	29	1.0 %	43	1.0 %	- %
合計	2,842	100.0 %	4,427	100.0 %	- %

堅調な北米市場や国内の自動車向け売上が好調、また小型研削盤(A1機)の納入拡大により売上に大きく貢献しました。

経営指標



項目	2010年11月期 第51期 期末	2011年11月期 第52期 期末	2012年11月期 第53期 期末	2013年8月期 第54期 期末 (9ヵ月)	2014年8月期 第55期 期末
PER(株価収益率) 倍	--	8.8	4.9	8.5	8.0
ROE(自己資本当期純利益率) %	-2.0	8.3	14.7	9.4	9.2
ROA(総資産経常利益率) %	-1.4	5.7	18.3	9.8	10.3
配当利回り(決算期末日) %	1.1	2.6	2.6	1.2	1.5

- **A1機 納入実績** 今期累積31台 (2014/10/15現在)
- **A0機 開発**
- **内面研削盤 小型機開発**

2015年8月期業績予想 損益計算書(連結)

(百万円)

	2014年8月期実績			2015年8月期予想		
		百分比	前期からの伸び率		百分比	前期からの伸び率
売上高	4,427	100.0 %	- %	6,599	100.0 %	49.0 %
売上総利益	1,643	37.1 %	- %	2,267	34.4 %	37.9 %
販売費及び一般管理費	870	19.7 %	- %	1,028	15.6 %	18.1 %
営業利益	773	17.5 %	- %	1,238	18.8 %	60.2 %
経常利益	1,046	23.6 %	- %	1,330	20.2 %	27.2 %
当期純利益	690	15.6 %	- %	831	12.6 %	20.4 %

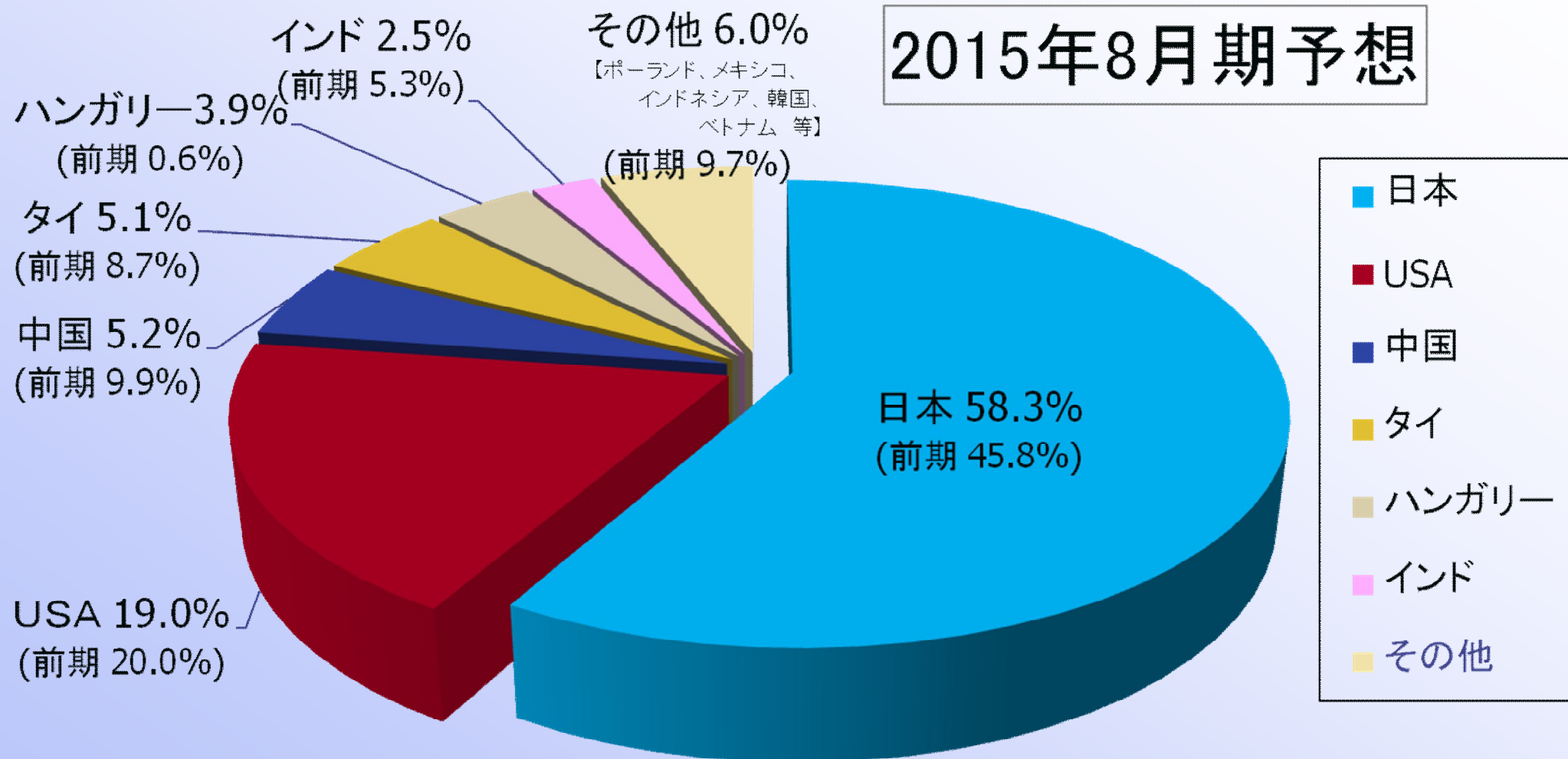
次期の見通しにつきましては、企業の業況判断は慎重となっているものの、企業収益に改善の兆しが見られることから、緩やかながらも回復基調で推移することと見られます。当社におきましては、国内への販売強化と米国及び東南アジアを中心とした海外への積極的な販売展開の強化を図ってまいります。このような状況から、平成27年8月期の通期の連結業績予想につきましては、売上高6,599百万円、営業利益1,238百万円、経常利益は有価証券利息による営業外収益を見込む1,330百万円、当期純利益は831百万円をそれぞれ見込んでおります。

2015年8月期業績予想品目別売上高(連結)

(百万円)

	2014年8月期実績			2015年8月期予想		
	売上高	百分比	前期からの 伸び率	売上高	百分比	前期からの 伸び率
心なし研削盤	3,522	79.6 %	- %	5,260	79.7 %	149.3 %
内面研削盤	324	7.3 %	- %	817	12.4 %	251.9 %
部品	537	12.1 %	- %	485	7.4 %	-9.7 %
その他	43	1.0 %	- %	36	0.6 %	-15.9 %
合計	4,427	100.0 %	- %	6,599	100.0 %	149.0 %

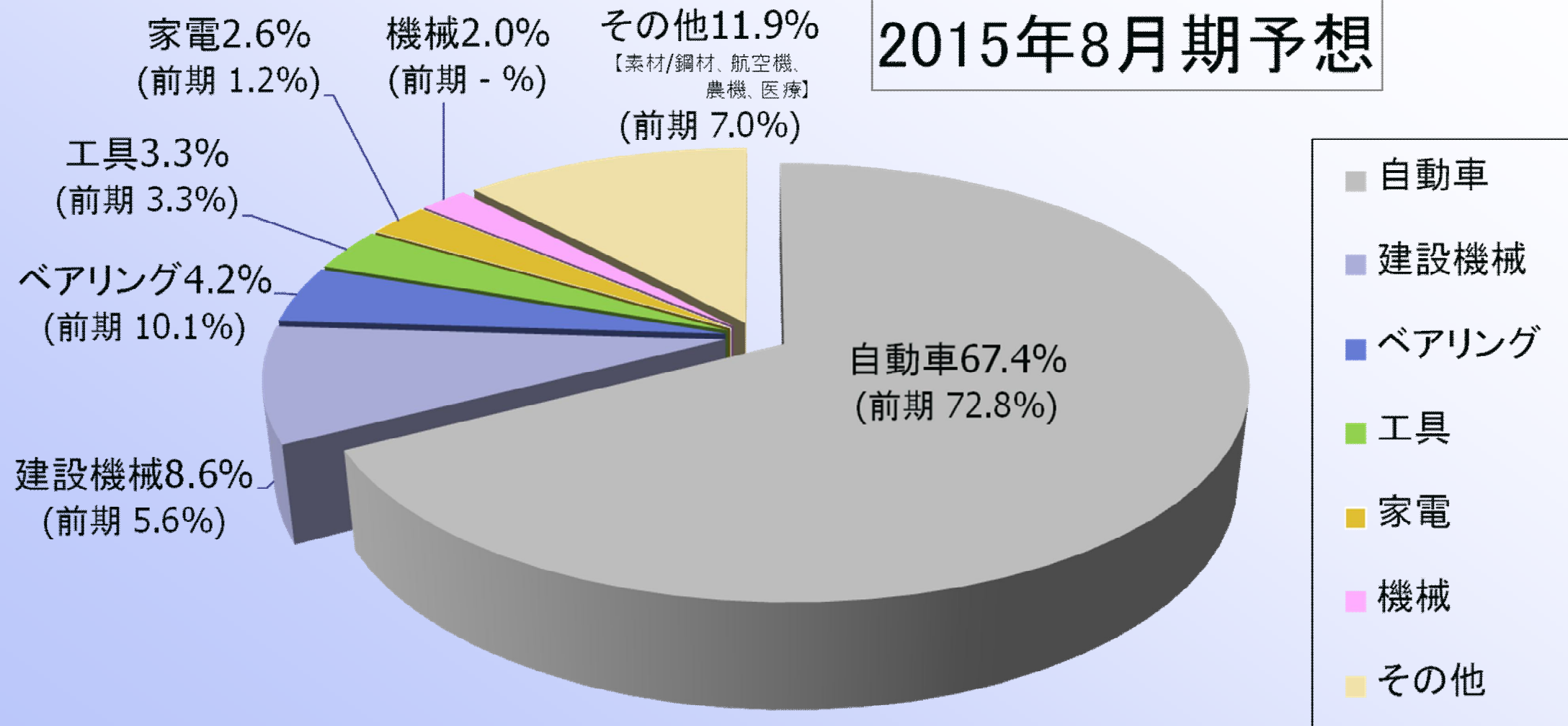
国別売上比率 (2015年8月期予想)



業種別売上比率

(2015年8月期予想)

2015年8月期予想



- **R&Dセンターでの開発加速**
(要素技術・新製品の開発)
- **実作業率向上、原価低減プロジェクト**
- **平成28年度(2016年)技能五輪山形大会への
取り組み**

世界最高峰と社員の幸せを目指して

1. 強みを極める弛まざる研究開発
2. 成長市場への集中
3. 新規市場への参入
4. 人財育成

◆ 動力計の開発

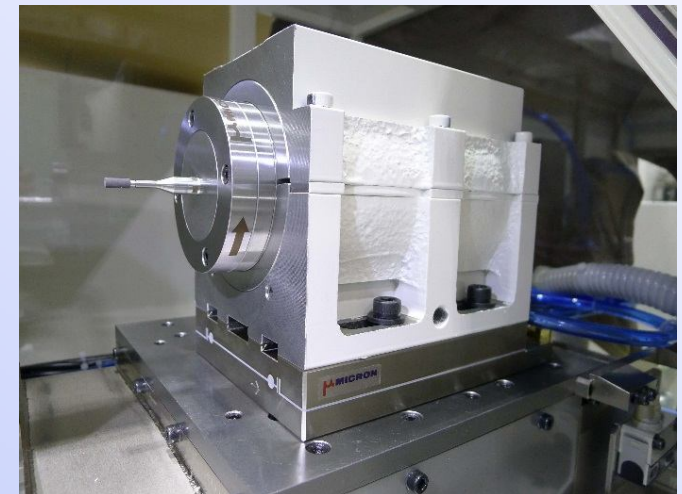
内面研削盤への活用

内面研削盤への展開による
精度安定、タクト短縮が可能に

定圧研削等の制御により、精度の
安定、研削時間の短縮などが可能
となる。



【動力計本体】



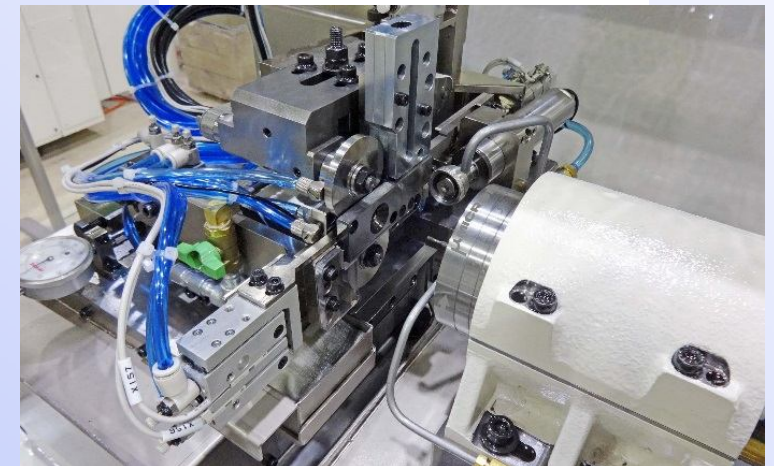
【砥石台へ装着】

◆2ロール1シュータイプ小型内面研削盤の開発

内面研削盤 MIG-R10P-A1型

コストパフォーマンスに優れた
戦略的小型内面研削盤

MPC-150HP-A1型機と同様のコンセプト
による内面研削盤への展開第一弾の
2ロール、1シュータイプの内面研削盤



【MIG-R10P-A1型機】

◆チャックタイプ小型内面研削盤の開発

内面研削盤 MIG-10Ui-A1型

コストパフォーマンスに優れた
戦略的小型内面研削盤

小型内面研削盤の第二弾の高精度
(静圧主軸)のチャックタイプ



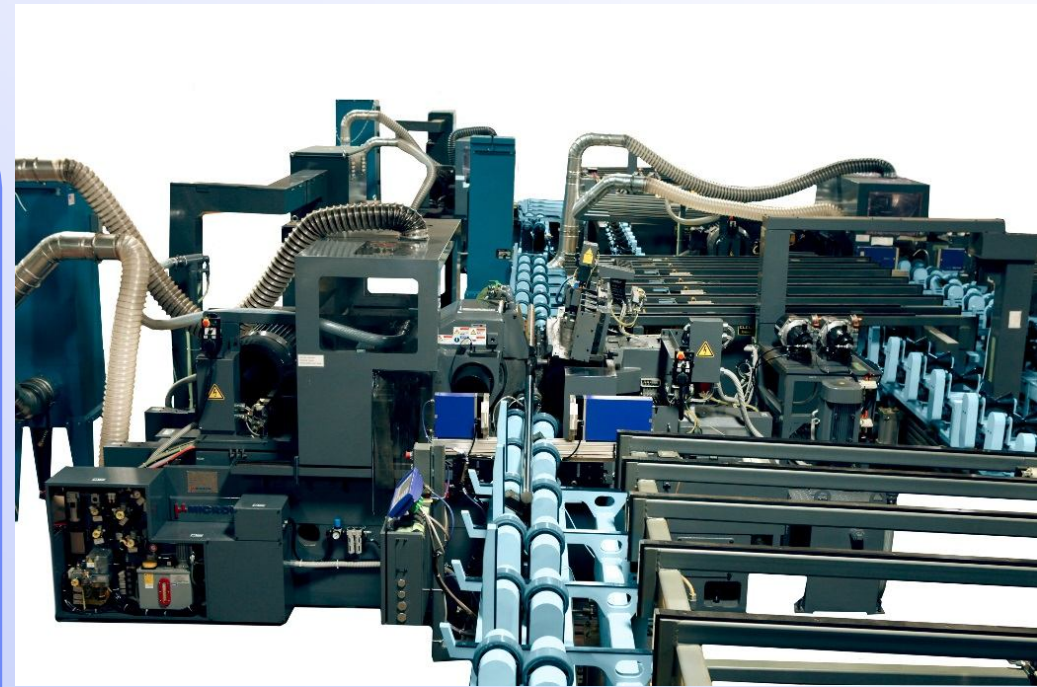
【MIG-10Ui-A1型機】

◆長尺加工物の自動段取りシステムの開発

自動段取りシステムの展開

長尺加工物への自動段取り替えシステムの展開

比較的段取り替えに多くの時間がかかっていた長尺加工物に自動段取り替えシステムを展開し、生産性を向上する。



【MFC-600VI-GS型機】

◆ R&Dセンター完成

蔵王みはらしの丘に上山市より工場用地の無償譲渡を受け、
R&Dセンター(研究/開発拠点)が2013年9月より稼働

R&Dセンター

R&Dセンターを活用し、
医療機器市場へ向けた取り
組みを推進。



R&Dセンター(外観)



建物内部

生産効率向上、ムダ削除の推進

◆生産効率向上、ムダ削除の結果として
売上総利益の上昇

◆正味稼働時間率向上と
外部原価低減によるコストダウン目標 15%

◆ものづくりは人づくり
ブラザーシスター制の導入 ～技能・技術の伝承と鍛錬～
技術、知識の向上 ⇒ 生産能率向上 人柄の醸成

●将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

問い合わせ先 管理部

電話 : 023-688-8112

FAX : 023-688-8545

<http://www.micron-grinder.co.jp/>